



被保険者の減少により、収入・支出ともに縮小しましたが、
収支の均衡は保つことができました。

決算の概況

- 被保険者が前年度に比べ、△1,422人(△14.4%)減少
- 被保険者の減少により保険料収入が減少
- 支出も同様に被保険者の減少が影響して減少
- 経常収支の差額は約1億37百万円の赤字でしたが、赤字幅は縮小しています(前年度対比15.3%)

収入の概況

- 収入の合計は前年度に比べ約12億67百万円の減収(前年度対比68.0%)
- 保険料収入は前年度に比べ約2億73百万円の減収(前年度対比89.5%)
- 前年度は10億円の繰入金があり前年度対比に大きく影響しています

一般勘定	令和3年度	令和4年度			
	決算額	予算額	決算額	対前年度	対予算額
適用状況					
被保険者数(名)	9,891	8,995	8,469	△1,422	△526
標準報酬月額(円)	240,227	240,536	245,420	5,193	4,884
総標準賞与額(千円)	628,982	3,245,431	1,039,228	410,246	△2,206,203

一般勘定の保険料率は9.50%で前年から変更はありません。

支出の概況

- 支出の合計は前年度に比べ約10億5百万円の減額(前年度対比70.5%)
- 納付金が前年度に比べ約8億54百万円減少したことが大きく影響しています
- 保険給付費は加入者の減少に伴い前年に比べ約1億80百万円の減額(前年度対比88.6%)

収入(千円)	
健康保険収入	2,337,988
調整保険料収入	31,193
繰越金	303,272
国庫補助金収入	534
財政調整事業交付金	11,057
雑収入	3,191
介護勘定受入	11,000
合計	2,698,235
経常収入	2,340,577

支出(千円)	
事務費	48,884
保険給付費	1,400,415
納付金	922,706
保健事業費	101,747
財政調整事業拠出金	31,154
その他	3,813
合計	2,508,719
経常支出	2,477,563
経常収入-経常支出差	△136,986

介護勘定は、納付金が前年度に比べ減額したことにより、収支の状況が大きく改善しました。

決算の概況

- 前年に比べ、被保険者の減少が小さかったため、収入の減少幅も小さく、支出においては納付金が大きく減少したため、収支の状況は前年度に比べ大きく改善しました
- 保険料収入は支出の介護納付金を十分に賄えている状態です
- 支出において、前年度収入に繰り入れた準備金約21百万円と一般勘定から受け入れた11百万円の戻し入れも行えています

介護勘定	令和3年度	令和4年度			
	決算額	予算額	決算額	対前年度	対予算額
適用状況					
被保険者数(名)	3,747	3,457	3,593	△154	136
標準報酬月額(円)	282,732	284,385	284,059	1,327	△326
総標準賞与額(千円)	327,561	1,474,678	659,719	332,158	△814,959

介護勘定の保険料率は1.88%で前年から変更はありません。

収入(千円)	
介護保険収入	240,243
繰越金	0
合計	240,243

収入(千円)	
介護納付金	191,612
還付金	22
準備金戻入	20,815
一般勘定戻入	11,000
合計	223,449
支出差	16,794

決算残金処分

次の通り決算残金を処分します

一般勘定(円)	
法定準備金	0
別途積立金	48,655,501
翌年度繰越金	140,834,000

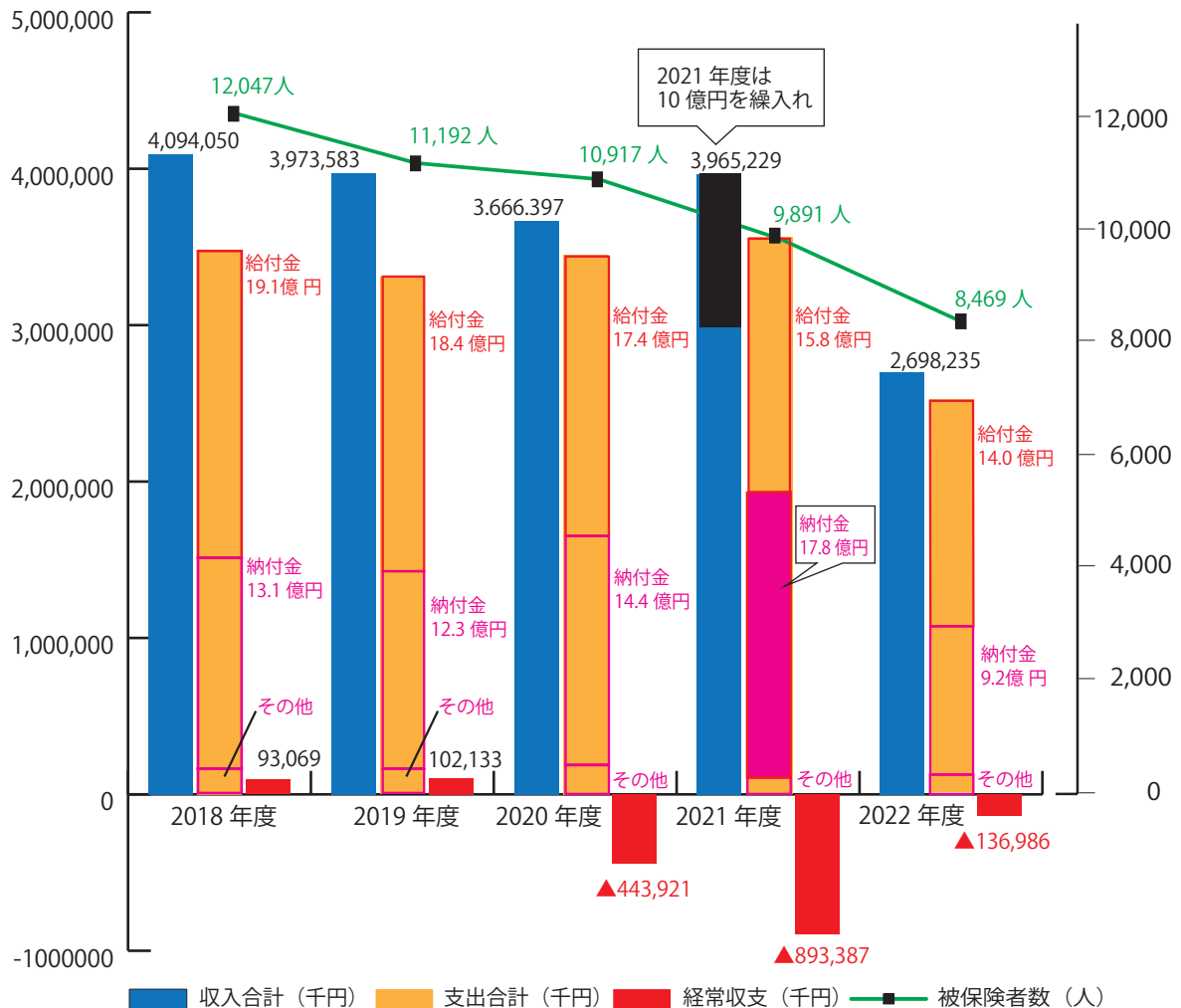
介護勘定(円)	
法定準備金	0
翌年度繰越金	16,794,111

公告

- ◆ワールドグループの規程改定に合わせて、令和5年4月1日付で、組合規程(職員就業規則、契約職員規程、再雇用契約職員規程、職員介護休業規程、職員給与規程、職員前払い退職金規程)、基準(職員時間外労働制限基準、職員深夜業免除基準)を改定しました。
- ◆令和5年4月1日付で(株)スタイルフォースの事業所削除をしました。
- ◆令和5年6月22日付で前理事長の松沢直輝氏が退任しました。
- ◆令和5年6月23日付で新理事長に大野陽一郎氏が就任しました。
- ◆令和5年7月14日に3年に一度の組合会議員選挙があり、18名の議員が改選されました。

健康保険組合【収入と支出の5ヶ年推移】

- 直近の5ヶ年は、2021年度を除き、被保険者の減少に伴って、同じように収入・支出共に減少しています
2018年度と比較して2022年度は、被保険者数70.3%、収入合計65.9%、支出合計72.3%
- 2021年度は、収入の不足が見込まれましたので、別途積立金から10億円の繰入を行いました
納付金（特に、前期高齢者納付金）の大幅な増額によって支出が増加したためです
- 2022年度の収支は、被保険者の減少により収入・支出共に縮小しましたが、均衡を保つことができました
経常収支は、2020年度から赤字が続いていますが、2022年度は赤字幅も縮小されています



健康保険組合の
財政運営を
安定化させるには

医療費など保険給付費の適正化が必要です

- ・保険給付費は、支出のうち55.8%（2022年度）の割合を占めており、収支に大きく影響を及ぼします
- ・適度な運動やバランスのとれた食事など、健康の維持や増進に努めて、医療費やお薬代を抑制しましょう
- ・緊急を要しない「休日・時間外受診」や「はしご受診」、不適切な「柔整」の利用など、無駄な療養費の使用はやめましょう

納付金は減らすことができます

- ・「前期高齢者納付金」の金額算定には当保険組合に加入している前期高齢者（65歳～75歳）の医療費が大きく影響します
- ・前期高齢者の方は健康の維持・増進と検査による早期発見・早期治療を心がけましょう
- ・前期高齢者予備軍（40歳～64歳）の方の健康維持と増進も重要です
特定健診は必ず受診して、生活習慣の確認と見直しを行いましょう
特定保健指導の対象者となった場合は積極的に参加して、生活習慣の改善に努めましょう

皆さん一人ひとりの取り組みが支出の抑制につながり、健康保険組合の財政運営を安定化することができます
引き続き、健康維持と更なる健康増進に取り組みましょう